祝卒業

月潟小学校

3月23日卒業

月潟中学校

3月8日卒業

時は3月、寒い冬が終わり、木々の芽が一斉にめぶく頃、校庭で卒業証書を手に喜び合う子供たちを見かけます。それぞれの新しい旅立ちです。

小学生は、中学校へ、中学生は、それぞれ、自分で見いだした新しい進路へと進みます。

みなさんの卒業を心からお祝いして、〝ご卒業おめでとう〟の言葉を送ります。これからのみなさんの活躍を期待しております。

月潟小学校卒業者

本年度は49人の児童が卒業し、めでたく中学生となりました。

◎旧6年1組（敬称略）

氏名	保護者	地区名
阿部 嘉明	嘉雄	月潟
五十嵐博史	信博	大別当
岩本 敬介	清則	木滑
小柳 和弘	一男	大別当
小林 和博	堅一	西萱場
小湊 務	文隆	大別当
田邊 勇人	金一	月潟
野沢 雅人	博	上曲通
早川 忠寛	忠夫	釣寄
星野 博一	周三	月潟
村山 嘉教	新一	月潟
矢挽 崇	茂	月潟
児玉 知子	弘	木滑
小林 るい	光夫	上曲通
齋藤 綾子	良範	大別当
齋藤 恭子	成義	大別当
佐藤 絵美	利男	上曲通
佐藤 まゆ	基	西萱場
関本 直子	武	西萱場
高木 秋子	菊一郎	釣寄
竹石ひとみ	三佐雄	月潟
田中 裕子	富雄	上曲通
棚橋 真理	三夫	月潟
村松奈津子	政二	木滑

◎旧6年2組（敬称略）

氏名	保護者	地区名
大橋 陽平	良夫	木滑
角田 望	守	木滑
金子 裕樹	義信	下曲通
兒玉 晃一	正彦	上曲通
小林 浩幸	博	月潟
神保 祐一	茂夫	釣寄
曽山 佳彦	浩司	釣寄
曽山 航	康雄	釣寄
高木 嘉和	嘉夫	木滑
間嶋 寛紀	幸雄	木滑
間嶋 亮輔	政衛	月潟
三星 吉孝	正勝	月潟
石田 宏美	敏宏	上曲通
河井亜希子	善人	東長島
小出ひろみ	茂	月潟
小出 理恵	悦子	西萱場
小林亜由美	茂	西萱場
小林実貴子	新	月潟
高橋 陽子	芳昭	上曲通
谷井佳名子	茂喜	月潟
時田知香子	忠夘一	下曲通
永井 理恵	芳夫	上曲通
梨本 梓	邦雄	月潟
藤村 知佳	和明	下曲通
柳沢 瞳	進	大別当

月潟中学校卒業者

本年度は57人の生徒がめでたく義務教育の全課程を終了し、卒業されました。

◎旧3年A組（敬称略）

氏名	保護者	地区名
青柳 吉則	敏郎	月潟
五十嵐雅彦	義雄	大別当
角田 裕	守	木滑
金子 裕也	義信	下曲通
栗林 一秀	一	木滑
齋藤 裕介	薫	大別当
柴山 智臣	修	西萱場
曽山清十郎	茂	釣寄
田中 利尚	昭二	月潟
登石 将士	清也	月潟
野上 聡	勝栄	月潟
野澤 友和	正栄	上曲通
原 茂雄	金蔵	下曲通
本間 健一	武志	西萱場
山口 哲史	鑛一	月潟
山田 大輔	夜詩夫	西萱場
渡邊 直樹	悦夫	西萱場
薄田 千春	直一	大別当
大関香穂里	久雄	月潟
金子 恵美	由征	月潟
佐藤みどり	佐久治	西萱場
髙橋 香織	和男	月潟
田中 淳子	太一	木滑
中嶋 麻由	勇雄	月潟
野内 清香	武好	月潟
野沢 監	正一	上曲通
細海 純子	勝義	月潟
三星 佳代	正勝	月潟
和平 昌子	芳政	下曲通

◎旧3年B組（敬称略）

氏名	保護者	地区名
阿部 顕介	久雄	月潟
五十嵐 洋	安正	月潟
市嶋 博之	カヅ子	月潟
市嶋 亮	重秋	木滑
鏡 文昭	耕造	大別当
金子 圭輔	繁作	大別当
小出 儀嗣	秋夫	月潟
兒玉 勝	稔	木滑
小林 昭一	昭蔵	下曲通
関根 伴和	社	月潟
高橋 哲也	芳昭	上曲通
竹石 正人	三佐雄	月潟
田邊 勝雄	二三雄	西萱場
梨本 一雄	邦雄	月潟
野上 篤	勝栄	月潟
野澤 尚	佐久市	上曲通
長谷川修一	啓一	月潟
井澤 智子	義明	釣寄新
入澤由希子	民夫	月潟
小林真理子	誠	大別当
神保 智美	則男	釣寄
関根 直子	健一	月潟
棚橋 志穂	三夫	月潟
長岡めぐみ	章	木滑
長崎加代子	紘	上曲通
野内二三子	新一郎	東長島
村松亜由子	政二	木滑
村松久奈子	久栄	木滑

平成5年度 危険物取扱者試験 消防設備士試験が行われます

◆危険物取扱者試験

試験期日	受付期間
平成5年5月25日(火)	平成5年4月20日(火)～28日(水)
平成5年7月6日(火)	平成5年6月1日(火)～9日(水)
平成5年7月21日(水)	平成5年6月17日(木)～25日(金)
平成5年7月23日(金)	
平成5年8月24日(火)	平成5年7月20日(火)～28日(水)
平成5年10月5日(火)	平成5年9月6日(月)～14日(火)
平成5年12月1日(水)	平成5年10月26日(火)～11月4日(木)
平成5年12月2日(木)	
平成6年3月8日(火)	平成6年2月1日(火)～2月9日(水)

(注) 郵送の場合は、締切り日の消印のあるものは有効です。

◆消防設備士試験

試験期日	受付期間
平成5年8月3日(火)	平成5年6月22日(火)～6月30日(水)
平成5年11月9日(火)	平成5年10月5日(火)～13日(水)
平成5年11月10日(水)	

(注) 郵送の場合は、締切り日の消印のあるものは有効です。

※願書は両方とも消防本部または分署に用意してあります。

お問い合せ先
- 白根地区消防本部　☎373-3111
- 中之口分署　☎375-2301

苦情や相談を行政に反映させる 行政相談委員に 武田 全 氏が 再任

行政相談委員は、国の仕事、特殊法人の仕事、国から委任されたり補助を受けて県や村が行っている仕事について、困ったこと、知りたいことなど、村民の良き相談相手となって、解決のため努力していただくことになっています。

ご相談は無料で、秘密は守られます。

相談日は、毎月一回、合同相談日に実施しております。

お気軽にご相談ください。

月潟村大字月潟　☎375-2144

平成5年度「緑の羽根」募金のお願い

今月、4月1日から30日までの間、「緑の羽根」募金が行われます。

この募金は、学校、公園、公共施設などの緑化を実施しながら、地域ぐるみの緑化運動に大きな成果をあげています。

今、世界各地で森林の荒廃が進み、緑が減少しております。私たち一人一人が緑の重要性を理解し、緑づくりに参加していくことが必要です。

みなさんのご協力をお願いします。

地球家族の一員として

国際緑化推進センター

民間の緑化活動を支援する機関

熱帯林は、地球上の森林の約五割を占めていますが、さまざまなことが原因で、毎年、日本の国土の約半分に当たる約千七百万ヘクタールの森林が失われています。

この熱帯林は、その地域の人々の生活を支えるだけでなく地球温暖化を抑制するなど、地球環境の保全に大きな役割を果たしています。熱帯林は地球規模の関心事なのです。

地球環境を守る熱帯林をどう保護するかが国際的な課題ですが、わが国もその解決に積極的に貢献しています。

開発途上の国々に対して、植林技術の開発、パイロット・フォーレスト(指標林)の造成、苗畑の建設など、さまざまな形の協力をしています。しかし一方で、こうした政府レベルの援助とは別に、NGO（非政府組織）など民間ベースでの草の根国際林業協力活動も広がってきました。

林野庁の肝いりで動き始めた「国際緑化推進センター」は、こうした民間の活動を支え、拡充していくための支援機関です。

平成三年に発足した国際緑化推進センターは、「緑の地球経営」を旗印に、民間の人たちが協力しやすいような情報を集めて提供し、民間団体のネットワークづくりをしています。昨年は、現地で熱帯林を造成するためのリーダーの研修も行われました。

地球に緑をよみがえらせるという大事業は、とても政府レベルだけで推進できるものではありません。民間がどのようにかかわっていくかが問われます。国際緑化推進センターの役割は、大きくなってきました。